

# 【 避難所における食物アレルギー対応について 】

## 1 避難所受入時の対応

### ① 避難者の受付

避難者名簿は世帯ごとに記載してもらいます。その際、アレルギーや障害等について確認し、「特別な配慮が必要な方」の欄に記載してもらいます。

#### ■ 要支援者の確認漏れを防止するための案内の掲示

体育館内に「支援が必要な方は必ず受付に申し出るよう」掲示しましょう。  
・ライティングシート（簡易ホワイトボード）を利用してください。

#### ■ 子どもだけで避難してきた場合

子どもだけで避難してきた場合には、必ず口頭で特別な支援が必要か否か確認しましょう。（アレルギーの有無、ふだん薬等を飲んでいるかなど）

### ② ビブスの配布（詳細は「2 食物アレルギー用ビブスの配布」を参照）

受付時にビブス等を配布します。なお、受付が混雑する災害発生直後など、個別に対応するのが難しい場合には、別途配布します。ハンドマイクや掲示などを利用し、「時間と場所を指定し、案内」するようにしましょう。

### 【資機材】

避難者名簿（備蓄コンテナ内の袖机に備蓄されています。）

【様式4】

避難者名簿

避難施設名：鎌倉市立第一小学校

入所年月日	年	月	日	住所	電話番号
世帯主				男・女	( ) -
家族（ここに避難した人だけ記入）				男・女	◆ 全壊・半壊・一部破壊 ◆ 断水・停電・ガス停止
				男・女	
				男・女	〒 ( ) -
				男・女	家族の避難・連絡状況など
				男・女	避難・安否情報
				男・女	
家族の中で特別な配慮を必要とする方がいる場合、記入してください。					ペットの状況等
_____					◆ ペットの種類・数
_____					◆ 同行・置きり・行方不明
_____					◆ その他
安否確認等の問い合わせがあった場合、住所及び氏名を公表してもよいですか。					よい・よくない
退所年月日	年	月	日		
転出先	〒				
電話					
その他					

※ 内容に変更がある場合は、速やかに管理係に問い合わせ修正してください。

この欄を確認する

## 2 食物アレルギー用ビブスの配布

### ① ビブス（ベスト）の配布

食物アレルギーの方にビブスを配布します。

食物アレルギーの方は外見からはわかりません。誤った食品を提供しないため、必ず着用してもらってください。

なお、本人が着用を拒否するような場合には、要支援者テープ（カラーテープ）で代用することもできます。

### ② 本人（家族）への案内

避難所で配布する食事のほか、避難者同士で食物を分け合うことも考えられます。本人から周囲の方に対してアレルギーがあることを伝えてもらってください。

ビブス等を付けていても、「**食品の配布時には本人からアレルギーがあることを申し出る**」よう伝えてください。

#### 【資機材】

- ・食物アレルギー対策用ビブス（10枚／避難所当たり）
- ・カラーテープ（黄色・ピンク各1巻／避難所当たり）

アレルギーの方には**黄色のテープ**を利用してもらいます。「マジックで食物アレルギー」と記載し、袖口等に貼ります。ピンクのテープは手話通訳等、支援者が利用するものです。



食物アレルギー用ビブス



要支援者（要配慮者）・支援者テープ

※ アドレナリン自己注射薬（エピペン等のアナフィラキシー補助治療剤）をお持ちの場合には、万一の際に備え、すぐに使用できる準備をしておいてもらってください。（食事の際は必ず携帯しておくなど）

### 3 食品の配布

#### ① 食品の配布

個食の「きのこごはん」又は「野菜がゆ」を配布します。アルファ米の作成を始める段階で、アレルギー対応が必要な方に配布します。（その際、お湯又は水を入れる。）

##### ※ 配布時の注意点

誤ってアレルギー非対応の食事が配布されないよう、配布を担当する方にビブスやテープの確認を徹底してください。

##### ※子どもへの声かけ

**お子さんには、ビブスを付けていない場合にも声かけをするなどの配慮**をお願いします。

#### ② 本人（家族）による食事の用意

自分で用意している食品があれば優先して利用してもらいます。

炊き出し、物資配布等に参加してもらうことも検討してください。

##### ■ アレルギー対応粉ミルクについて

**アレルギー対応粉ミルクは、避難所には備蓄されていません。**アレルギー対応が必要な乳幼児が避難してきた際には、**災害対策本部に依頼**してください。（できるだけ早めの依頼をお願いします。）

#### 【資機材】

- ・きのこごはん（アレルギー27品目不使用）  
個食式（50食／避難所当たり）
- ・野菜がゆ（アレルギー27品目不使用）  
個食式（50食／避難所当たり）
- ・アルファ米わかめごはん（アレルギー25品目不使用）  
箱単位（数量は避難所による） ※50食一度に作るタイプです。
- ・アレルギー対応粉ミルク  
※たづくり倉庫に備蓄。避難所には備蓄していません。

#### わかめごはんの利用について

50食を一度に作成するアルファ米のうち、「わかめごはん」はアレルギー対応食品です。「わかめごはん」だけを作成することで、アレルギーの方へも一度に配布することができます。**災害発生直後の混乱しているときには、わかめごはんを使うことで、誤食を避けることが可能です。**

## 【 嚥下障害のある方への対応について 】

### 1 嚥下障害とは

嚥下障害（えんげしょうがい）とは、種々の原因によって嚥下（ものを飲み込む）の機能が損なわれることです。この障害がある方は、アレルギーの方と同様に食事などに係る支援が必要となります。嚥下障害のある方は固形物が食べられないだけでなく、**ふつうの水が飲めない場合があります。**

この障害に対応するには、水にとろみをつけたり、食べ物を柔らかくする必要があります。

### 2 嚥下障害への対応

#### ① 水を飲むために

**とろみ調整食品「つるりんこ」を配布**してください。

とろみ剤は、飲みものなどに加えてかき混ぜるだけで、手間をかけずに簡単にトロミをつけられます。嚥下障害の方が水を飲むときに使用します。

#### ② 食事の配布

食事は基本的に固形物を使用していない**「玄米がゆ」を配布**してください。

#### ■ 食事の際の注意点

嚥下障害の方は、普通に作った**「お粥も食べられない**」ことがあります。

水分量を増やすなどの対応が必要になる場合がありますので、ご本人や家族と相談してください。

#### 【資機材】

- ・つるりんこ Quickly（とろみ剤）（100本／避難所当たり）
- ・玄米がゆ 個食式（50食／避難所当たり）



つるりんこ Quickly（とろみ剤）